平成29年度 学長戦略経費(公募型プロジェクト)研究成果概要報告書

		平成	29年度	学	長戦略経費(公募型プロジェクト)研究成果概要報告書
経費の種	類				教員海外発表支援経費
研究者氏	名	· 所	属・職名		濱谷弘志 岩見沢校 准教授
発	表		標	題	High school trekking programs in Northern Japan Alps
発	Ž	学	会	名	8 th International Outdoor Education Research Conference https://www.usc.edu.au/explore/structure/faculty-of-science- health-education-and-engineering/school-of-education/8th- international-outdoor-education-research-conference
発 君	₹	年	月	日	2018年11月19日
発 ※会場名	表 · 都	市名	場(国名)	所	The University of Sunshine Coast (Sunshine Coast, Australia)
発表	内	容	の 概	要	(日本語) 長野県大町岳陽高校(前大町高校)にて70年以上開催している全校登山プログラムの効果に関する研究発表。プログラム体験により「自己成長」「学校帰属」「地元への愛着」「自然観」といった因子にどのような影響を与えるのか効果測定を行った。その結果、女子は男子に比べ、プログラム参加後「自己成長」「地元への愛着」因子において有意に高い結果となった。 (英語) This study shows the effect through the whole school trekking program at Omachi Gakuyo high school in Nagano prefecture holding more than 70 years. The effect was measured what kind of influence they had on a factor such as "self-growth" "school spirits" "attachment to the hometown" "the view of nature" by program experience. As a result, the girl significantly turned out high in a "self-growth" "attachment factor to the hometown" after program participation in comparison with a boy. グラフ・図・写真(発表の様子等)
成果 0) 今	〉後	の活用	等	日本の学校教育にて行われている野外教育プログラムである学校登山を紹介し、その効果についての発表を行ったことで、海外の研究者が日本での事例を知る機会となった。今後は海外の事例との比較など、国際的な共同研究等ができれば有益なものになると考えられる。

その他参考となる事項	